

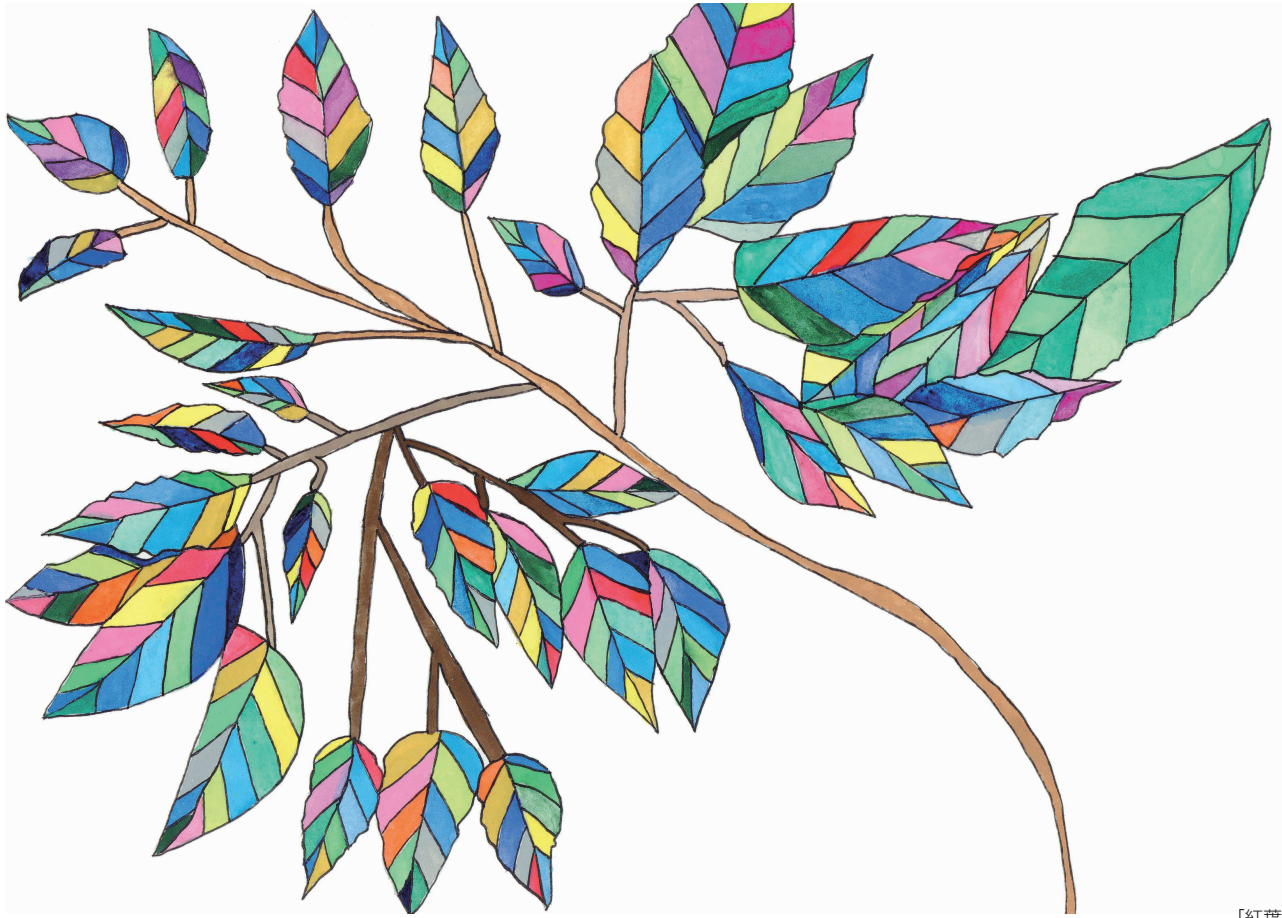
「BELIEVE」

BELIEVE

2022  
秋号  
VOL.82

「BELIEVE」

## 特集 ウクライナ人道危機支援



「紅葉してる植物」山田 恵子  
(エイブルアート・カンパニー所属 <http://www.ableart.com.jp>)

### ■シリーズ 情熱の白衣 医師の素顔③ 救急科部長 水 大介 ■看護師レポート

- 食だより／秋一旬を味わう「里芋とベーコンのバター醤油」 ●お薬ミニ知識／決めていますか？ かかりつけ薬局！
- 緩和ケアチーム、からのお知らせ ●かかりつけ医をもちましよう
- 10月4日『院内災害訓練』を実施！／LINE, Instagram 新規開設！ ●Topics Box〈ニュース&イベント〉

#### 大阪赤十字病院の理念

わたしたちは  
人道・博愛の赤十字精神に基づき  
すべての人の尊厳をまもり  
心のかよう高度の医療をめざします

#### 患者さんの権利

1. 一人の人間として、人権をまもられる権利があります
2. 良質かつ適切な医療を、公平に受ける権利があります
3. 医療についての情報や治療上の説明を受ける権利があります
4. 自分自身の治療について、医療行為を選択する権利があります
5. プライバシーがまもられ、個人情報保護される権利があります
6. 自己の診療録等の医療情報の開示を求める権利があります
7. 他施設の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります



# ウクライナ人道危機支援

日本赤十字社は、ウクライナ人道危機において、救援金の募集やウクライナ国内および周辺地域に職員を派遣するなど、国際赤十字と連携した人道支援を展開しています。当院の国際医療救援部においても、現地への職員派遣や医療機器の輸送など、さまざまな支援活動を行っています。今号ではその一部を紹介します。



(C) IFRC/Anette Selmer-Andresen

▲フィンランド赤十字社スタッフと確認作業



(C) IFRC/Anette Selmer-Andresen

▲冷蔵庫に医薬品を収納

## 薬品管理



(C) IFRC/Anette Selmer-Andresen

▶診療所内



(C) IFRC/Anette Selmer-Andresen

薬剤部兼国際医療救援部 薬剤師  
仲里 泰太郎  
Yasutaro Nakazato

フィンランド赤十字社との仕事は3回目。ウクライナ西部で緊急の診療所立ち上げチームの一員として活動。



ウクライナ・ウジュホロドへ派遣

派遣期間：2022年4月28日～6月22日

モルドバへ派遣

派遣期間：2022年3月25日～7月25日

国際医療救援部 国内救援係長  
河合 謙佑 Kensuke Kawai

ウクライナ人道危機対応で日本赤十字社から最初に海外派遣された職員。国際赤十字・赤新月社連盟の緊急救援要員(倉庫管理担当者)として活動。



▲1,000m<sup>2</sup>の倉庫に保管中の支援物資

## 倉庫管理



▲車両管理も業務のひとつ



▲モルドバの倉庫で、ポーランド赤十字社から届いた支援物資を確認

派遣支援活動を終えて  
現地での様子を聞きました!

**Q** どんな人と活動をしていましたか?

仲里 私のチームは7名で、フィンランド人かカナダ人でした。

河合 私のチームは常時10名前後でした。状況に応じてスタッフが入れ替わり、累計で40名以上、25カ国の人と活動しました。チーム内の日本人は私ひとりでした。

**Q** 現地での安全はどうでしたか?

仲里 毎日1～2回空襲警報が鳴り、その度に防空壕(地下のワイン倉庫)に避難しました。空襲警報は夜中に鳴ることも多かったです。

河合 いつでも隣国に避難できるように食料と水を数日分備蓄していました。

**Q** うれしかったことは何ですか?

仲里 帰るときにウクライナの薬剤師から「もっと一緒に活動したかった」と言われたことです。

河合 大きな事故もなく無事に支援物資を届けることができたことです。



## 日本からの支援活動

当院内で行った支援活動です。



▲梱包、準備した資機材

をウクライナへ輸送するという話が出ました。そこで、当院のロジスティクスセンター(災害専用倉庫)と日本通運茨木倉庫にて送る資機材の仕分けをしたところ、1.8立方メートルの木箱35箱分の量になりました。これを梱包し重量を測定すると総重量は約8.4tに。資機材リストを作成するなど準備を進めましたが、その後、現地の状況は二転三転し、組み換え、再梱包の作業を何度も繰り返すことになりました。最終的に、現地のニーズや安全状況の変化、輸送路の確保が困難となったことなど諸々の理由から、ウクライナ国内への搬入は叶いませんでした。

## 総重量約 8.4t 医療消耗品の準備

当院では、3月初めから国際医療救援部を中心にウクライナの人道危機に対する支援を続けてきましたが、難しいのは災害とは異なり、紛争であるために予測を立てづらいということです。ウクライナ東部で赤十字国際委員会(ICRC)が医療支援を行うにあたり、当院で管理するフィールドホスピタルの医療消耗品

## 職員による ウクライナ人道危機への 寄付支援

6月上旬、栄養管理課と国際医療救援部が協同し、「カレーを食べてウクライナ人道危機の支援に参加しよう!」という企画を行いました。国際医療救援部では環境に配慮した次世代の災害医療研究の一環として昨年度より空気から水を作る実験を続けています。この企画は、その水で育てた玉ねぎとじゃがいもでチキンカレーを作って職員に提供し、売り上げをウクライナ人道危機支援に全額寄付するというものです。玉ねぎとじゃがいも以外の食材は、趣旨に賛同してくださった日頃関わりのある企業より、ご寄付いただきました。



▲収穫した玉ねぎ

1食100円以上から、100食限定で販売したカレーはすぐに完売。集まった計73,087円を日本赤十字社のウクライナ人道危機救援金に寄付しました。

## 寄付額 73,087円



▲配膳の様子

▶出来上がったカレー

## X線

### レントゲン一式を ウクライナへ

4月初旬、ウクライナ赤十字社より、ウクライナ西部の診療所や巡回診療でレントゲンを使用するため、当院で管理している日本赤十字社の海外用フィールドホスピタルのレントゲンモジュールを送って欲しいとの要請を受けました。これを受けて国際医療

救援部では、レントゲン一式の再点検を行い航空輸送用に梱包、いつでも輸送できる状態にしました。ところがここからが大変でした。日本からウクライナに届けるためのルートや方法の確立と平行して、ウクライナ

国内での、日本から持ち込んだ機器の使用許可の取得など、いくつかのハードルを越え、ようやく7月中旬にウクライナに送ることができました。追って日本赤十字社より放射線技師を派遣し、ウクライナの放射線技師に使用方法を伝えました。



▲梱包準備



▲レントゲン一式



▲ロジスティクスセンターでレントゲンの動作を確認



▲現地でウクライナの放射線技師が確認

**Information** 当部では、日々の活動の様子をSNSで発信しています。「大阪赤十字病院 国際医療救援部」で検索、または以下のQRコードから、ご覧ください。

Facebook



YouTube



Instagram



Twitter



●日本赤十字社  
ウクライナ人道危機救援の動き  
仲里・河合の両名の活動が紹介されている動画もあります。  
・紛争激化から5カ月

YouTube



●オンライン月例勉強会

- ▶開催日: 毎月第2金曜日18:00~
- ▶会場: オンライン(Zoom)
- ▶申込: Facebookで随時ご案内
- ▶参加費: 無料

# 大阪の救急医療が変わる、その力になれることを願って

患者さんに安心をもたらすことが救急医の務め

大阪赤十字病院の救急医療が、新しくなりそうだ。そんな期待とともに、今年7月から当院の救急科に着任した水医師。これまで18年間勤めてきたのは、日本の救命救急センターを有すると評価される、神戸市立医療センター中央市民病院だ。「もちろん、前の職場での経験やスキルを役立てたいという思いはありますが、同じやり方をめざすつもりはありません。救急医療とは、病院全体でつくりあげるもの。しっかりと各診療科の先生や看護師さんの理解と協力を得たうえで、この病院にあった体制をつくりだせたらと思っています。」



「救急医は、ひとりでは何もできない。救急医療の現場に立ち続けてきた水医師が、強く実感していることのひとつだという。」

「私たちにできるのは、目の前に来られた一人ひとりの患者さんに対して、今、この人には何が必要かを素早く見極めること。」緊急性がないと思われるときは、そのことを患者さんに説明し、どのようにフォローしていくのかを伝えるのも大切な役割。無事に引き継ぎができたなら、自分たちのことは忘れてもらってもいいのだという。「すべての患者さんに、まずは安心してもらうこと。それが私たちの務めなんです。」だからこそ、本音を言えば、誰ひとり断わることなく救急患者を受け入れたい。「海外では当たり前の、E R型救急（※）ですが、日本では、まだまだ施設も人材も足りないのが現状です。」

※すべての救急患者の診療を行う救急初期診療型

## 人口の多い大阪にこそ、新しい救急医療の拠点を

他の診療科の医師と比べて、身体すべての部位について知識が求められる救急医。

## 救急科部長 水 大介



昨年からは飼い始めた愛犬ボタが、いまやすっかりわが家の中心。

なかでも救急科専門医と呼ばれるスペシャリストは、水医師を含めて全国にわずか5、500人ほど。他の専門医に比べると、その数は圧倒的に少ないという。

「大阪で歴史あるこの病院に、自分が着任した意味を深く受け止め、神戸よりもずっと人口が多いこの都市で、これまでにない救急医療システムづくりにチャレンジしてきたら」と、熱い思いを語る水医師。確かな体制を整えたいうえで、多くの救急患者を受け入れることは、経験豊富な人材を育成することにもつながるといいます。「できれば地域住民の方々にも、まずはE R型救急というものを知ってもらい、その意義や役割についてご理解いただきたいです。」救急医療は、地域にとつての大切な課題。「どんなときも、病院に行けば安心できる。そんな街にしたいと考えていますか?」水医師の問いかけは、この街に生きる私たち全員の心えを待っている。

兵庫県出身。平成16年神戸大学医学部卒業。新医師臨床研修制度の第1期生として、さまざまな診療科での研修を経験し、神戸市立医療センター中央市民病院救命救急センターに着任。救急科専門医、集中治療専門医、総合内科専門医として18年間、救急医療の最前線で活躍。令和4年7月より現職。

## 看護師レポート 82 REIKO IBE

大阪府生まれ。昭和58年日本赤十字社大阪看護専門学校卒業後、大阪赤十字病院に入職。循環器内科、消化器内科、消化器外科病棟での勤務を経て、延10年以上にわたって中央手術室を担当。平成24年より救急部（現救急科）へ。令和3年4月より現職。



## 救急科部長 伊部 玲子

小学生のとき、入院中の祖父を看取ったことが、人生を変え、大きな出来事となりました。

## 関わる時間は短くても、濃密に患者さんと向き合いたい

痛みを苦しむ祖父にしっかりと寄り添ってくれた、担当看護師さんの姿が忘れられず、「私もいつか、苦しんでいる人の力になりたい」と思うようになった。高校から看護専門学校に進学し、入職してからは無我夢中で職務に打ち込む日々。あまりにも一生懸命になりすぎて、後輩には「厳しい先輩」と思われていたかもしれない。だんだん周りが見えてくるにつれ、後進の育成が気になり、長年担当した中央手術室から病棟へ、自分の希望で異動しました。「はじめをつけることで、私の技術やノウハウをしっかりと引き継ぎたい」と考えたからです。

その後、経験を活かすために志望した救急科で、あらためて実感したのが、人の大切さです。みんな力を合わせることで、何よりも必要であり、チームワークのよさが、患者さんへの看護に直結します。たとえ接する時間が短くても、患者さんやご家族の気持ちに救うことはできます。大事なものは、常に「なんとかしてあげたい」という気持ちを持って、自分がどう関わられるかを考えること。「生命を救う第一線だからこそ、短くても、濃密な関わりが生まれる」と信じています。

今は、60人近くの看護師を束ねる看護師長として、見る側の大変さにも



趣味のミニチュアキツづくりは、無心になれるのが魅力。

心を配る立場に。コロナ禍のもと、大変ななか本当にみんながんばってくれています。「一刻も早く、全員が心身を休められる状況になれば」と願いつつ、一人ひとりを見守っているところです。

★新型コロナウイルス感染症対策により、マスク着用での取材とさせていただきます。



# 食だより

栄養管理課 管理栄養士 福井 侑子

## 秋

旬を味わう

### 「里芋とベーコンのバター醤油」

猛暑が過ぎ、木々も色づいてきましたね。秋になると、里芋やさつまいもなどの芋類が旬を迎え、おいしい季節になります。今回は、里芋について紹介します。

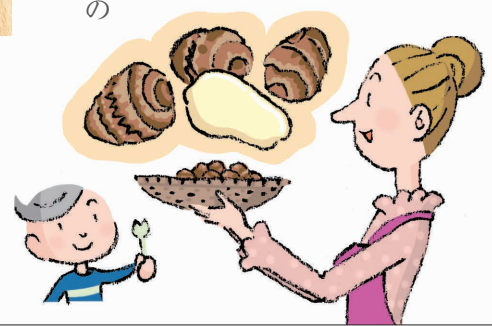
里芋には、里芋特有のぬめり成分であるガラクトンが含まれています。ガラクトンは水溶性食物繊維の二種で、胃の中で水分を吸って膨らむという特徴があります。そのため、食欲を抑えたり、腸内細菌のはたらきを活発にしたりする効果が期待できます。

里芋は、煮つころがしなど和風の味付けをすることが多いですが、今回は洋風のレシピを紹介します。



■栄養成分(1人分)

エネルギー	193kcal
たんぱく質	4.9g
脂質	14.4g
炭水化物	13.4g
食塩相当量	0.8g



#### 〈材料〉(2人分)

- 里芋……………5個
- オリーブオイル……………大さじ1/2
- にんにく……………1片
- ベーコン……………50g
- 醤油……………小さじ1/2
- バター……………5g
- パセリ……………少々

#### 〈作り方〉

- 1 里芋の皮を剥き、一口サイズに切って皿に入れ、ふんわりとラップをかけて電子レンジで約4分、竹串がすっと通るくらいまで加熱する。  
▶竹串がすっと通らない場合は、10秒ずつ延長する。

#### POINT

里芋は軟らかくなりすぎないようにすること!

- 2 熱したフライパンにオリーブオイルを入れ、みじん切りしたにんにくを炒める。
- 3 7~8mm角の拍子切りにしたベーコンを②に加え、表面に焦げ目が付くまで炒める。
- 4 ③に①を入れ、醤油とバターを加えてさらに炒めて仕上げる。
- 5 器に盛り付け、パセリの粉末をふって出来上がり。



# お薬ニ知識



薬剤部 がん薬物療法課 尾本 和彦

決めていますか? かかりつけ薬局!

## 「かかりつけ薬局」という言葉を

### 聞いたことがありますか?

皆さまは普段から何でも相談できる「かかりつけ薬局」をお持ちですか?

「かかりつけ」というと、なかなか聞き慣れない方もいるかもしれませんが、『行きつけ』といえば、イメージが付きやすいかもしれません。顔なじみの薬剤師がいる「行きつけの薬局」をひとつ決めておくことを、おすすめします。

複数の医療機関から、いろいろな作用をもったお薬が処方されて服用している場合、お薬の飲み合わせに気をつける必要があります。なぜなら、同じような機能を持つお薬が重なって処方されたり、飲み合わせによって効き目が弱くなるお薬が処方されたりすると、副作用のリスクが高まるケースや、期待される効果があらわれないといったケースがあるためです。また、市販薬や健康食品などの飲み合わせにも、注意が必要な場合があります。

皆さまが服用されるお薬をひとつの薬局でまとめて管理することで、複数の医療機関から同じお薬が処方されていることに気が付いたり、相互作用(注意を要する飲み合わせ)が起きたりすることを防ぐことができます。

#### ●健康サポート薬局

「健康サポート薬局」とは、健康サポート機能について、厚生労働大臣の定める基準を満たしており、処方せんによる調剤などの「かかりつけ薬局」の機能に加えて、市販薬や健康食品、介護や食事、栄養摂取など、健康に関することを気軽に相談することができる薬局です。  
例えば、風邪のひき初めや発熱したときに、薬剤師が症状に合わせて適切な市販薬を選ぶお手伝いをしたり、医療機関への受診をおすすめしたりしています。



健康サポート薬局は、このロゴマークが目印です。

健康管理のためにも、複数の薬局に行くのではなく、いつでも気軽に相談できる「かかりつけ薬局」を決めてみませんか。

# 緩和ケア病棟を再開しました

緩和ケア科 主任部長 端 裕之

がん相談支援センター 当院では、がん全般に関するさまざまなご相談をお受けしています。  
TEL:06(6774)5152 FAX:06(6774)5126 syakaika@osaka-med.jrc.or.jp



「緩和ケア病棟」が再開しました。当院は、「がん地域連携拠点病院」として、平成30年9月より「緩和ケア病棟」を開設しています。令和2年4月以降、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策として、病棟の利用を一時的に中止していましたが、令和4年7月から2年3カ月ぶりに再びご利用いただけるようになりました。



▲個室Aタイプ

「緩和ケア病棟」とは、患者さんがその人らしく毎日を過ごしながら療養を続けていただけるように、病気によって起こるさまざまな苦痛をできる限り和らげることを目的とした病棟のことです。がんによる苦痛症状が強い場合はそれらを和らげたり、「これからどこで、どのように過ごそうか」などの悩みごとを相談したりする場所でもあります。また、自宅で患者さんを介護されているご家族に休憩していただく目的で一時的に利用(1週間)することによってできます。

## ●緩和ケア病棟再開!

当院の「緩和ケア病棟(12階A病棟)」が再開しました。当院は、「がん地域連携拠点病院」として、平成30年9月より「緩和ケア病棟」を開設しています。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況にもよりますが、ご家族の面会も限定的に行っています。

## ●ご利用にあたって

必要な方に、なるべく広くご利用いただきたいと考えていますが、わずか10床ですので、今のところはご利用いただける方がかなり限られた状況にあります。対象はがん患者さんで、手術や抗がん剤治療(ホルモン療法も含む)などの、いわゆる「がん治療」を止める選択をされた方です。延命を目的とした治療、蘇生処置や輸血、透析や呼吸器の使用、昇圧剤や強心剤の使用などは行っていませんので、入院される前にそれらを確認させていただきます。ご利用いただける期間は最長4週間です。



▲個室Bタイプ

詳しくは、「緩和ケア病棟のご案内」のパンフレットをご覧ください。緩和ケア病棟利用相談外来(毎週月曜日10時から12時)への受診を、担当の先生にご相談ください。緩和ケア病棟を、皆さまの療養の選択肢のひとつとしてお役立ていただければと思います。



▲緩和ケア病棟のご案内のパンフレット



## かかりつけ医をもちましょう

病院と診療所がその機能や役割を分担しながら、患者さんに適切な医療を提供することが求められています。自分のことをよく知っていて、ちょっとした病気やケガの診察や相談ができる「かかりつけ医」をもちましょう。

### かかりつけ医

日ごろの健康管理  
専門的な治療が必要なら当院へ紹介

紹介

逆紹介

### 大阪赤十字病院

高度医療・専門医療  
症状が安定したら再び「かかりつけ医」へ

## 医療法人 大野医院

- ◆院長/大野 雅文
- ◆診療科/内科・循環器内科、小児科、アレルギー科
- ◆住所/大阪市東成区大今里西1-17-26
- ◆電話/06-6976-0132
- ◆往診/有(要相談)
- ◆診療時間



▲大野雅文院長(内科) ▲大野博美副院長(小児科)



▲外観

外来	月	火	水	木	金	土
午前(9:00~12:00)	○	○	○	○	○	○
午後(14:00~16:30)	△	△	△	△	△	△
夜(17:00~19:00)	○	○	○	○	○	○

■休診日/日曜、祝日  
・△は予約制 ・第3木曜日は内科のみ休診  
・予防接種はお電話でお問い合わせください

**特長** 内科医と小児科医、医師2名で診療を行っています。平成元年の開業から30年以上にわたって、内科は循環器を専門とし、小児科は風邪・湿疹・アレルギー・夜尿症などよくある病気に関わりながら、親子の成長をサポートするホームドクターとして診療を続けてきました。

精密検査や入院が必要な場合は「小児科ホットライン」で大阪赤十字病院の先生と直接連絡を取り、相談をしながら紹介するなど対応しています。

**地域の皆さまへ** 新型コロナウイルス感染症の流行初期より発熱の患者さんを積極的に診療するため感染対策室を設置し、幅広い年齢の患者さんの診断・治療にあたってきました。感染者が多いときには対応しきれずご迷惑をおかけしたことがあります。これからも地域に必要な医療を届けられるよう努力していきます。

## 医療法人春信会 長谷川医院

- ◆院長/長谷川 典男
- ◆診療科/内科
- ◆住所/大阪市生野区桃谷2-5-25
- ◆電話/06-6711-2208
- ◆往診/有
- ◆訪問診療/有
- ◆診療時間



▲待合室

外来	月	火	水	木	金	土
午前(8:00~12:00)	○	○	△	○	○	△
午後(16:00~19:00)	○	○	△	○	○	△

■休診日/水曜・土曜・日曜・祝日



▲点滴室

**特長** 往診、訪問診療を中心として平成11年に開業しました。現在も一般内科外来を行いながら連日の訪問診療や臨時の往診などに対応しています。プライベートが保てるようにセパレートされた点滴室、和風庭園を眺めながら診察できる診察室など、患者さんが快適に診察、処置を受けていただけるように配慮しています。緊急の訪問診療、往診は近隣の訪問看護ステーションと連携して、夜間、早朝も対応しています【自車で10分以内の範囲に限定しています(△・△\*)】。これからも地域のかかりつけ医として貢献していきたいと思っています。

**地域の皆さまへ** 当院に来院された患者さんには、疾病、症状緩和については最大限の努力をさせていただくのは当然のこととして、精神的にも笑顔で元氣になって帰っていただくことをモットーとしています。

# 10月4日『院内災害訓練』を実施!



▲中等症エリア

## ●もしもコロナ禍のもとで災害が起これば

新型コロナウイルス感染症の影響により、この数年実働での災害訓練を行っていませんでしたが、今年はそのようなときこそ本当にコロナ禍のもとで災害が起これた場合に備えなければならぬということになり、10月4日に実働訓練を実施することになりました。今回の訓練では、新型コロナウイルス感染症の感染者も被災者のなかに混ざっているという想定で、災害時にどのように対処するかを訓練までに院内感染防止委員会で検討しました。

●訓練当日の様子  
 当院の訓練は、全国的にもほとんど例がない、実災害が起これたときと同様の動きをする実戦形式の訓練で、当日は午後から一般業務を止めて全職員が参加します。また、陸上自衛隊、大阪府警察、大阪市消防など地域の防災機関、医療機関、企業を合わせると、参加者数が2,000名を超える大規模な訓練です。

●訓練直後の院内の動き  
 上町断層直下型地震が訓練当日13時に発災したという想定のもと、被災地である当院看護専門学校にいる模擬被災者を、消防と警察が救出し、当院へ搬送します。電力は停電のため自家発電に切り替わっており、水は断水のために井戸水を浄化して使用、ガスは止まっているという状況です。

- 災害対策本部を設置
- 外来患者さんを外へと避難誘導
- 入院患者さんと当院職員の安否確認
- 施設や機器の点検
- 受け入れエリアを設置

外部からの受け入れでは、正面玄関のトリアージアエリアで運ばれてくる患者さんを軽症から重症まで振り分け、それぞれのエリアで診療します。



▲トリアージアエリア

手術や入院が必要な患者さんは実際に手術室や病棟へ運びますが、発災直後はエレベーターも止まっています。電子カルテシステムは使用できず、すべてのカルテや伝票類は紙運用に切り替わります。



▲消防と連携して高所の模擬被災者を救出

## ●訓練を終えて

訓練は無事終了し、現在は訓練の検証と、各部署で抽出された課題の検討を行っています。これらは災害対策ガイドライン(BCP)に反映され、今後の災害対応に活かされます。訓練中、皆さまにはご迷惑をおかけしたと思います。地域住民の皆さまを守ることに繋がる訓練ですので、ご理解のほどよろしくお願い致します。



院内災害訓練(関係機関とのミーティング、当日の様子)など、当院国際医療救援部の公式フェイスブックでも紹介しています。  
<https://www.facebook.com/355328871229152/>

QRコードはこちら →



令和4年10月スタート! ぜひ、この機会に登録してみてください!



LINE公式アカウント



Instagramアカウント

## 新規開設!



Instagramアカウント  
 フォローの方法

〈方法①〉  
 右記のQRコードより追加



〈方法②〉  
 Instagramアプリを開いて、「検索」  
 →「大阪赤十字病院」を  
 検索して追加

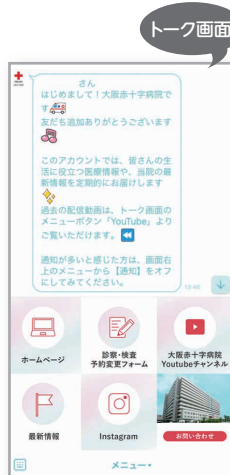


LINE公式アカウント  
 友だち追加の方法

〈方法①〉  
 右記のQRコードより追加



〈方法②〉  
 LINEアプリを開いて、「友だち追加」→「検索」  
 →「@493nkzup」を  
 検索して追加



令和4年10月より、当院の「LINE公式アカウント」および「Instagramアカウント」を開設しました。皆さまへお伝えしたい病院の最新情報や、生活に役立つ動画講座などを定期的に発信する予定です。また、LINE公式アカウントについては、トーク画面の下部に表示されているメニューから当院のホームページ画面や再診予約の変更画面に移動することができます。ぜひ、ご利用ください。

※利用するには、スマートフォンやパソコンに専用のアプリケーションをインストールする必要があります。

## News 本誌「びり〜ぶ」についてのアンケートを実施中！

今後も皆さまの声を反映しながら、よりよい情報誌にしていきたいと考えています。ぜひ、皆さまのご意見・ご感想をお聞かせください。ご協力をお願いします。



### アンケート方法

右記のQRコードを  
携帯電話で読み取り、  
回答後、送信してね！



フォローしてね！

Instagramアカウント

友だち登録  
お願いします

LINE公式アカウント

→ 詳しくは本誌7ページをご覧ください。

## 人事異動情報 (令和4年6月30日付～8月31日付)

**採用** (7月 1日付)【救急科】水 大介(部長)

【消化器外科】吉田 真也(医師)

【麻酔科・集中治療部】辻井 俊二(医師)

(8月 1日付)【脳神経内科】本庄 智香(非常勤嘱託医師)

(8月26日付)【脳神経外科】大塚 亮太郎(非常勤嘱託医師)

**退職** (6月30日付)【消化器外科】坂口 正純(医長)／岩井 祐人(専攻医)

【小児科】白石 恵(専攻医)

(8月31日付)【呼吸器内科】植松 慎矢(医師)

【腎臓内科】山本 紘子(専攻医)

【産婦人科】田村 年規(専攻医)

## ご寄付について

新型コロナウイルス感染症対応に取り組んでいる日本赤十字社に対し、多くの患者さんおよび企業・団体の皆さまから、ご寄付をいただいています。皆さまからの温かいご支援に感謝申し上げるとともに、当院を受診される皆さまのご期待にお応えできますよう、職員一同真摯に職務に励みます。皆さまのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

**ご寄付の連絡先** 大阪赤十字病院 総務管理課 **TEL:06-6774-5111**(代表) | ご寄付の方法については、当院ホームページにも掲載しています。  
<https://www.osaka-med.jrc.or.jp>

### ■税制上の優遇措置

日本赤十字社に対してなされた活動資金のご協力は、税制上の優遇措置が受けられます。

#### 個人として資金を拠出された場合

●寄付金の全額(ただし、上限は寄付者の年間所得額の40%)から2千円を差し引いた額が寄付者の年間所得総額から控除されます。  
(所得税法第78条第2項第3号)

#### 法人として資金を拠出された場合

●特定公益増進法人に対する寄付金の損金算入限度額を損金に算入することができます。  
(法人税法第37条第4項)

※寄付金損金算入限度額については、法人の資本や所得金額によって異なります。限度額については税務署や税理士の方にご確認ください。

### ■表彰制度

日本赤十字社では、ご寄付いただいた方・法人に対し下記のとおり感謝状などをお贈りしています。

#### 1.有功章・社長感謝状

- ①事業資金として、一時または累計額で20万円以上を納められたとき → 銀色有功章
- ②事業資金として、一時または累計額で50万円以上を納められたとき → 金色有功章
- ③金色有功章を受章された方がさらに事業資金として、一時または累計額で50万円以上を納められたとき → 社長感謝状

#### 2.支部長表彰状(感謝状)

個人、法人・団体より事業資金として一時または累計額で10万円以上を納められたとき

#### 3.特別社員章

- (個人) 事業資金として、一時または数次に2万円以上納められたとき → 称号付与通知書特別社員章
- (法人) 事業資金として、一時または数次に2万円以上納められたとき → 称号付与通知書

〈備考〉事業資金などを納められた個人、法人・団体には、納入金額に応じて上記の表彰のほか、次の手続きをいたします。

- 厚生労働大臣感謝状(手続きは同年度内1回のみ)
  - 個人の場合 → 一時または同年度内の累計額で100万円以上、500万円未満
  - 法人・団体の場合 → 一時または同年度内の累計額で300万円以上、1,000万円未満
- 紺綬褒章(手続きはその都度)
  - 個人の場合 → 一時または分納の申し出により累計額で500万円以上
  - 法人・団体の場合 → 一時または分納の申し出により累計額で1,000万円以上

※国の表彰については、表彰を代行申請するものであり、ご受章をお約束するものではありません。また、代行申請にあたり別途ご提出いただく書類があります。

## 病院のご案内

- 受付時間(月～金) (診療開始は午前8:45からです)  
初診/月曜日～金曜日 8:30～11:30 再診/月曜日～金曜日 8:00～11:45
- 休診日 土・日・祝・5月1日(本社創立記念日)・12月29日～1月3日
- 診察券 診察券は全科共通で使用いたしますので、ご来院時には必ずお持ちください。
- ご面会 (病状によってこの限りではありませんが、必ず病棟の看護師にご相談ください)  
平日/14:00～19:00 休診日/10:00～12:00、14:00～19:00  
小児病棟(平日・休診日とも)/14:00～19:00
- 保険証等 保険証、医療証等は月に1度窓口で確認させていただきます。また、変更・更新の際は必ずご提出ください。

当院は  
敷地内全面禁煙です  
当院は、敷地内全面禁煙を  
実施しています。  
ご理解とご協力をお願いします。

## 大阪赤十字病院

大阪市天王寺区筆ヶ崎町5-30 令和4年10月発行

■お問い合わせ  
**TEL:06-6774-5111**(代表)

大阪赤十字病院  
<https://www.osaka-med.jrc.or.jp>  
赤十字全般  
<https://www.jrc.or.jp>

